

京都大学研究室を訪問しました 7月10日(水)

○事前学習(京都大学訪問をより有意義なものにするために・・・)

- ・大学特有の研究方法とは。京都大学特有の施設とは。
- ・主体的に取り組むことはどう楽しいか。やりがいとは。
- ・大学と高校で異なるところとは。
- ・(課題探究を踏まえ)説得力を持たせる説明の仕方とは。
- ・大学生と自分たちの学習への態度はどう違うか。

など質問も準備!



○当日

7:30 小松高校出発 ➡ 11:15 京都大学到着! 食堂で早めの昼食!



安くて美味しい!

デザートも食べました!

本校OGの京大生と交流会!



生徒の感想より

- ・「毎日の積み重ねが後に財産になる」という言葉が印象に残った。これまでの自分じゃだめだなと見直すきっかけになった。
- ・自分の好きなことに、とことん熱中して研究している様子が印象的で魅力的だった。
- ・入試のための勉強ではなく、一生ものの勉強体力をつけていく必要性を感じた。

大学の教授と懇談 & 講義・ゼミを初体験!

A班: 思想文化論 (奥田 敏広先生)



「知ろうとすることが大切」だという言葉が、生徒にとって非常に印象深く残りました。また、教授や院生の方と少人数で対話するという贅沢な時間もありました。

B班: 認知行動科学 (月浦 崇先生)



難しい研究内容を生徒にかみ砕いて説明して下さったことで生徒は非常に興味津々でした。また文系と理系の壁はないのだと、新しい見方も教えて下さいました。

C班: 共生社会環境論 (浅野 耕太先生)



日本を越えて世界的な経済と環境の関連性を研究されている先生のお話を聞いた生徒たちは、世界のニュースに関心を持つ必要性を感じ、広い視野へと変わったと語っていました。

D班: 認知行動科学 (久代 恵介先生)



「スポーツがうまくなるには」という高校生にとって非常に興味深い内容を身近な例を用いて説明して下さいました。実験室にある先生が独自で作られた装置に、皆驚いていました。

15:40 名残惜しくも京都大学出発! ➡ 19:20 小松高校到着・解散

●生徒の感想より

- ・自分が思っていたよりも大学は自由で多種多様でグローバルな場所だった。細分化されていて、本当に自分に合った分野を学べるんだと感じた。自分が学びたいことに対して主体的に学べるのは良いことだと感じたのと同時に、大学で研究していくには単一的な知識や見方だけではだめなのだと感じた。
- ・更なる理想実現のために、「友達や先生を頼る」「家族に甘える」「理想を実現した後の自分を想像する」!
- ・更なる理想実現のために、「限界の上を目指す」「楽しみながら勉強する」「方法を自分で考えひたすら繰り返す」!
- ・自分の知らなかった世界が広がって、「こういう考えもあるんだ!」と新しい見方に触れることができた。人生を通して探究し続ける教授の生き方が素敵だなと思った。
- ・「教科書を信じるな」という言葉が興味深かった。普通なら信じてしまうけど、興味のある分野では探究心を前へ前へ出していくべきなんだと分かり、それが更なる現代社会の理解につながるんだと思った。
- ・課題研究について「とにかく手当たり次第あさる」という話を聞き、これまで先行的な絞って余計定まらなくなっていたので、非常にためになった。
- ・今回の訪問で、自分の志望する大学について詳しく知るといことは、すごくためになると気づいた。今日から自分にできることをやっていく。

★人文コース今後の予定

8月23日 Jゼミ中間発表会

9月25日~27日 関東ヒューマンセミナー